



横浜ダンスコレクション R2009

プレスリリース vol.5
2009年2月

横浜ダンスコレクション R とは？

1996年にスタートしたコンテンポラリーダンスのフェスティバル。コンテンポラリーダンスの様々な面を横浜から日本国内に発信しています。また期間中には海外のダンスディレクターが来日。振付家と交流することで世界のダンスマーケットの一翼を担っています。

横浜ダンスコレクション R 2009

コンペティション プラス

「横浜ソロ×デュオ<Compétition> +」受賞者が決定しました！

アジア最大級規模のコンテンポラリーダンスのフェスティバルであり、新進振付家の世界的登竜門ともなっている「横浜ダンスコレクション R」の「横浜 Solo × Duo <Compétition> +」の受賞者が決定しました。

今回は、14カ国 192組という過去最多の応募があり、ビデオ審査を経て選ばれたファイナリスト 15組が本選にて作品を発表しました。厳正なる審査の結果、下記の振付家が各賞に選出されました。また、今回も特別賞として、スペインのダンスフェスティバル「MASDANZA」(マスダンサ)へのファイナリスト出場権、「マスダンサ賞」が1名に授与されました。今回の受賞をきっかけに、振付家達の活躍が期待されます。

横浜ダンスコレクション R 2009 「横浜ソロ×デュオ<Compétition> +」

期間：2009年2月5日(木)～2月8日(日)

会場：横浜赤レンガ倉庫1号館3階ホール

【受賞者一覧】

(各賞)	(受賞者名)	(性別 / 年齢 / 出身)	(受賞作品名)
* 若手振付家のための 在日フランス大使館賞	ロサム・ブルデンシャド・ ジュニア	男性 / 24歳 / フィリピン	「Which Way?」
* 未来へはばたく横浜賞 * MASDANZA 賞	たばた まき 田畑 真希	女性 / 35歳 / 神奈川県	「ドラマチック、の回」
* 審査員賞	おさない ゆみ 長内 裕美	女性 / 25歳 / 埼玉県	「concord」
* 審査員賞	ふるいえ ゆうり 古家 優里	女性 / 25歳 / 熊本	「てまえ悶絶 ～3,000円くらいの自己肯定～」

*2009年2月現在

各賞について

「在日フランス大使館賞」：ソロ・デュオ部門対象。フランスでの6ヶ月間のダンス留学の権利および

次回以降の横浜ダンスコレクション R での作品発表の機会が授与されます。

「未来へはばたく横浜賞」：グループ部門対象。次回以降の横浜ダンスコレクション R での作品発表の機会と、横浜赤レンガ倉庫1号館での単独公演権が授与されます。

「審査員賞」：ソロ・デュオ部門、グループ部門対象。次回以降の横浜ダンスコレクション R での作品発表の機会が授与されます。

【横浜ソロ×デュオ <Compétition> +】審査員

レベッカ・リー

(レ・ラボラトワール・ドーベルヴィリエ マネージャー)

伊東 順二

(富山大学芸術文化学部教授 / 美術評論家)

川崎 徹

(演出家)

村上 香住子

(作家)

浜野 文雄

(『ダンスマガジン』編集委員)

エレヌ・ケルマシュター

(フランス大使館 文化アタッシェ)

フィリップ・ラルー

(横浜日仏学院 院長)

藤崎 信裕

(財団法人横浜市芸術文化振興財団・横浜赤レンガ倉庫1号館館長)

*審査員コメント

レベッカ・リー (レ・ラボラトワール・ドールヴィリエ マネージャー) フランス

前回同様レベルの高さに驚かされました。また今回は、ヨーロッパから参加した振付家が多いことにも驚きました。毎公演満席で、国内外の劇場関係者などの交流の場ともなっているこの横浜ダンスコレクション R を機会に、振付家の公演の機会がひろがることを期待しています。何か仕掛けがあるの？と思うくらい、ビックリするほど一人飛び抜けた人がいつもいます!今回もロサム・ブルデンシャド・ジュニアがそうでした。

*受賞者コメント

ロサム・ブルデンシャド・ジュニア (若手振付家のための在日フランス大使館賞)



夢のようでとても嬉しいです。帰国して家族で早く受賞のお祝いをしたいです。これからは色々な国で振付家として頑張っていきたいです。まずは6ヶ月間、フランスでしっかり勉強をし、経験を積みたいです。

田畑 真希 (未来へはばたく横浜賞、MASDANZA 賞)



想像もつかなかったことなので本当に嬉しいです。一緒に踊ってくれたダンサーに感謝します。また、支えてくれたスタッフの方々、本当にありがとうございます。これから未来へはばたけるよう頑張ります。

長内 裕美 (審査員賞)



初めて自分で振付けた作品ということもあり、受賞できるとは思っていませんでした。すごく嬉しいです。この受賞をばねに、次の作品の創作をがんばっていきたくたいです。

古家 優里 (審査員賞)

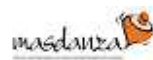


本当に嬉しいかぎりなのですが、あまりにもびっくりして目玉が出ました。さらに眼力をつけることをめざしてがんばります。

MASDANZA 賞とは・・・

スペイン、グラン・カナリア島で開催しているダンスフェスティバル「MASDANZA」のディレクター ナタリア・サンタナが、アジアを開拓するために、横浜ダンスコレクション R2006 に参加。ダンスコレクションで発掘した注目の才能を「MASDANZA」に招聘しています。2006年に杏奈が振付部門グランプリ及びオーディエンス賞、2007年に浜口彩子が振付部門で3位入賞、イ・ソンアがソロコンテストで2位入賞及びオーディエンス賞を受賞、2008年には宝栄美希がベストダンサー賞受賞、チョン・ヒョクジンがソロ部門で2位入賞、パク・ヨンクールが振付部門で2位入賞を果たしました。このことは、ダンスコレクション R 受賞者のレベルの高さも証明しています。

MASDANZA 賞 : 田畑 真希「ドラマチック、の回」



*ディレクターコメント

ナタリア・サンタナ (「MASDANZA」ディレクター) スペイン

振付家とダンサー達の進歩を感じました。今回はヨーロッパからの参加も多く、アジア・ヨーロッパ双方の振付家がお互いの作品を観ることができる良い機会になったと思います。お互いの創作力を感じ、今後の参考になったのではないのでしょうか? 田畑真希さんの作品は、ダンサーが舞台に出てきた瞬間から目を奪われました。動きが個性的で新しい印象を受けました。空間演出もクリアに表現されており、まとまっていて良い作品だったのが選出した理由です。